

1 2012年
月号

No. 920

やまもとたかだ

広報誌



おめでとう! 70億人めの赤ちゃん (11月1日:市立病院)

INDEX

- 新年のご挨拶 1
- わたし、70億人めの赤ちゃんです 2
- 産業優良従事者表彰 / 文部科学大臣表彰 3
- BOOK サロン / いつまでもお元気で 4
- いっしょに伸びよう高田っ子 5





謹賀新年



「住んでよかった」と 思えるまちづくりを

大和高田市議会議長
戸谷隆史

新年、明けましておめでとうございます。市民の皆さまには、希望に満ちた新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

去年は、東日本大震災や台風により、各地で多くの方が被災されました。新しい年を迎え、改めて一日も早い復旧、復興を願ってやみません。今年、辰年です。辰の原字は、「蜃」で、漢書の律曆志では、「動いて伸びる」、「整う」の意味とし、草木が盛んに成長し、形が整った状態を表すと解されています。ここに新年を迎え、市民の皆さまの一段の躍進を、心から期するところです。

ご承知のとおり、社会経済情勢や環境等の急速な変化に伴い、行政需要は複雑多様化しており、本市においても、克服すべき多くの課題を抱えています。

さて、本市の財政状況は、行財政改革の成果により、平成22年度一般会計決算において、累積赤字を一掃するまで改良しましたが、引き続き他会計を含めた早期の財政健全化を推進するため、「大和高田市財政健全化プログラム」に基づき、職員一丸となって取り組まれているところです。

市議会といたしましても、市民の皆さまの意見が反映できる、身近で開かれた議会として、また執行機関と互いに切磋琢磨しながら、「住んでよかった」と思えるまちづくりを進めてまいります。

最後になりましたが、市民の皆さまのご多幸をお祈りするとともに、本年も相変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。



安心・安全の 美しいまちづくりを！

大和高田市長

吉田誠克

新年、明けましておめでとうございます。市民の皆さまには、輝かしい初春を健やかに迎え、のことと、心からお慶び申し上げます。

市政を担当して9年、多くの皆さまのご協力をいただき、本市の平成22年度一般会計決算は、約1億9,800万円の黒字となりました。単年度収支では4年連続の黒字、実質収支では平成12年度以来10年ぶりの黒字決算とすることができました。

このように、本市の財政状況は回復に向かっていますが、少子高齢化や経済の長期低迷、昨年の大災害などにより、地方財政が予断を許さない状況に変わりはありません。「大和高田市財政健全化プログラム」をはじめ、各種健全化計画の最終年度を迎える今年、強固な財政基盤の確立に向け、計画の完遂に全力を尽くします。

また、安心・安全の美しいまちづくりは、本市の大きな目標です。特に安心して子育てができるよう、引き続き教育施設の耐震補強工事に取り組み、幼稚園と保育所を合わせた、土庫こども園の本年4月オープンなど、未来を担う子どもたちが安全に学ぶことができる環境整備を進めていきます。さらに、市役所庁舎をはじめとする公共施設の老朽化対策を最重要課題に据え、「高田の夢」をかたちにすることをめざし、医療、教育、福祉、文化等の行政課題に取り組めます。

今後も、心豊かな市民が主役の、元気で誇れるまちづくりを推進してまいります。より一層の、ご支援ご協力をお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。

大和高田市立病院で 生まれました

「わたし、70億人めの赤ちゃんです」



平成23年10月31日、大和高田市立病院で、市内に住む小松原朋之さん、祐華さんの第2子、来未(くるみ)ちゃんが生まれました。

世界の人口が、10月31日に70億人に達したとの推計に合わせ、国連人口基金(UNFPA)東京事務所は、この日に生まれた赤ちゃんを「70億人目の赤ちゃんのひとり」と認定しました。申請(すでに締め切っています)により、認定証も発行しています。小松原さん夫妻も、申請したそうです。

昨年3月11日の東日本大震災により、まだまだ乗り越えなければならないことは、たくさんあります。一方、この震災には、世界各国から温かい支援が日本に寄せられ、世界がつながり支え合っていることを、改めて感じた出来事でもありました。

国連人口基金東京事務所は、「70億人の世界」に生きるすべての女性、男性、そして子どもが健康な生活を送り、平等な機会を享受できる社会を実現するために、自分ができることを考え、アクションをおこそうと、呼びかけています。世界中のさまざまな困難を解決するためには、70億人の協力が必要なのだ。

病室を訪ねると、来未ちゃんは、すやすや眠っていました。母・祐華さんは、「11月になるかな、と思っていました。記念すべき日に生まれてくれて、うれしいです。元気に育ってくれるのが、一番です」と、笑顔で話していました。父・朋之さんは、「しっかりした女の子に、育てて欲しい」と、来未ちゃんの顔をのぞき込んでいました。

今年も、みんな元気で、子どもたちの明るい声が響く街、大和高田市でありますように。



産業優良従事者表彰

商工業・農業の各分野で著しい功績をあげられ、市の発展に貢献されている皆さんが、産業優良従事者として11月21日に表彰されました。

受賞された皆さんに、深く敬意を表すとともに、今後、なお一層の活躍を期待して、お祝い申し上げます。

●産業優良工業従事者

多年にわたり、本市産業の経営に精進され、工業の発展育成に尽くされている功績による表彰。



吉村 定義さん



辻 将央さん



加藤 隆夫さん

●産業優良商業従事者

多年にわたり、本市産業の経営に精進され、商業の発展育成に尽くされている功績による表彰。



笹岡 好次さん

●産業優良農業従事者

多年にわたり、本市産業の経営に精進され、農業の発展育成に尽くされている功績による表彰。



吉村 信雄さん



井学 寛さん

●産業優良従業員

本市産業の従業員として誠実に職務に励み、勤務成績が優秀であるとともに、職務に対する努力が他の規範であることによる表彰。



吉村 等さん



川崎 一郎さん



松田 克己さん



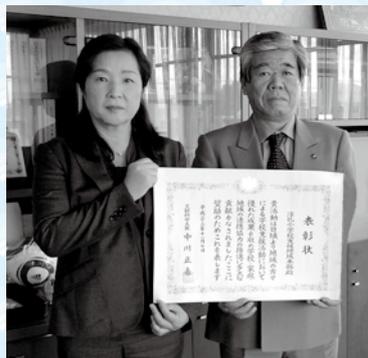
覇谷 靖子さん



上田 勝治さん

文部科学大臣表彰

浮孔小学校支援地域本部



学校・家庭・地域の連携協力推進に、多大な貢献をしたことが高く評価され、浮孔小学校支援地域本部が、平成23年度優れた「地域による学校支援活動」推進にかかる文部科学大臣表彰を受賞しました。11月15日、浮孔小学校・西川知恵巳校長が、市長に受賞の報告をしました。

土庫小学校PTA



どんごう子灯ろうの集い、バザー、収穫感謝祭、また広報活動などの取組が高く評価され、土庫小学校PTAが、平成23年度優良PTA文部科学大臣表彰を受賞しました。11月24日、土庫小学校PTAの龍見佐知子さん、嶋谷雅代さん、山本季子さんと、中ノ瀬義文校長が、市長に受賞の報告をしました。

1月のおはなし会

◎おはなし会

▷とき 1月14日(土) ぞぜん10じ30ぷんから

▷たいしょう 4さいいじょうの子ども

- おはなし 『十二支のできたわけ』
- 絵本 『だるまちゃんどてんぐちゃん』

◎えほんとわらべうたの時間 <きらら>

▷とき 1月28日(土) ぞぜん10じ30ぷんから

▷たいしょう 3さいいかの子ども

- うた 『まんまるちゃん』
- 絵本 『おりぼんちゃん』

※ほかにもたのしいおはなしや、てあそびがあります。

※どちらも、としよかんの2かいでかいさいします。

〔市立図書館〕

☎52-3424 ☎52-9415

URL

<http://as.yamatotakadalib-unet.ocn.ne.jp>

BOOKサロン



今月の一冊



貨物列車の撮影ベストスポットも載っていて、鉄道愛好家には特に嬉しい本かもしれません。

『貨物鉄道—軌跡と未来—』

講談社編／講談社

貨物輸送—38年の変遷と現況を、希少な写真や豊富な資料で紹介しています。また、鉄道写真家による全国

☆ほかにも、新着図書がいろいろあります。

1月の新着図書

一般書

児童書

『北風ふいてもさむくない』

あまんきみこ作、西巻茅子絵／福音館書店

『ひめねずみとガラスのストロー』

安房直子作、降矢なな絵／小学館

『チ・カ・ラ。』

イングリッド・ロウ作、田中亜希子訳／小学館

『奈良の平日—誰も知らない深いまち—』

浅野詠子著／講談社

『セラピードッグの子守歌—認知症患者と』

真並恭介著／講談社

『負けない自分になるための32のリーダーの習慣』

澤穂希著／幻冬舎

時は金なり

1950年(昭和25年)1

月、初の千円札が発行されました。聖徳太子が紙幣に描かれ、また、この紙幣から「圓」が

「円」に変わりました。

そこで、今回は「お金」に関する本をご紹介します。

『学校では教えてくれない

お金の話』

(金子哲雄著／河出書房新社)

「正しい金銭感覚を身につけることと、人と人とのつながりを大切にする」ことで、素敵な人生になるはず」と著者は言います。その「お金」に関して知っておいてもらいたい話を書いてある本です。

『しらべ図鑑 マナペディア

世界の お金100』

(名倉克隆 監修、グループ・

コロンブス 構成／講談社)

身近なコインやお札はもちろ

ろん、昔のお金や外国のお金な

ど、「お金」についての写真や説

明が充実している、お金のこと

がよく学べる本です。

『生きるための「お金」のはなし

高取しづか作／サンマーク出版

子どもたちへ向けて、お金の

大切さや怖さを優しく解説し

ています。だから、児童書になっ

ていますが、大人が読んでもた

めになる1冊です。



いつまでも お元気で



危険をなくして、健やかな毎日を送りましょう

65歳以上の人を、高齢者と呼びますが、まだまだ現役として、充実した生活を送ることができ世代です。

しかし、加齢による身体機能の低下は、ある程度は、仕方のないことです。身体機能の低下が原因となり、思わぬところで、事故に遭うことがあります。高齢者の場合、けがが重症化しやすく、治療や回復に時間がかかることから、寝たきりなど、重度の介護状態になることも、あります。

ご注意ください！

65歳以上の事故は、半分以上が家庭内でおこっています。

特に今の時期、高齢者は、「骨折」と「やけど」に注意が必要です。多くは、「居室」「階段」「台所」でおきており、それぞれの場所に応じた、予防策が必要といえます。

「骨折」は、転んだり転落することでおこります。骨折を予防するには、

- 部屋の整理整頓を、心がけましょう

- すべり止め、つまずき防止の工夫をしましょう
- 廊下や階段、浴室などに手すりを設置して、転倒や転落を防ぎましょう
- 明るい照明や、足元灯をつけましょう

また、高齢者の場合、可能であれば、生活の中心となる居間や寝室を1階に移すことも考えましょう。頻繁に階段を使わずにすむことで、階段からの転落、骨折などの、重大な事故を減らすことができます。同様に、集合住宅の場合でも、なるべく低層階がおおすすめです。

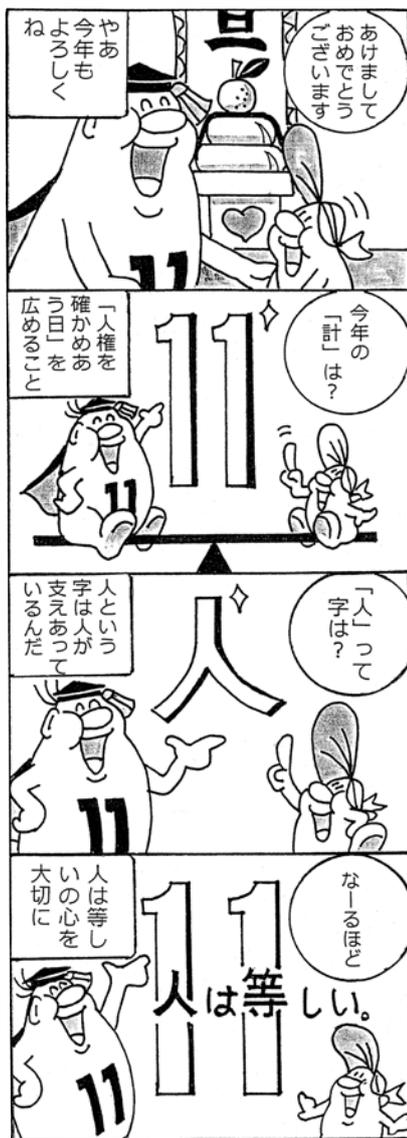
- 「やけど」は、火や熱湯を使うとき以外にも、使い捨てカイロやアンカなどでおこる、低温火傷があります。やけどを予防するには、
- 直接皮膚にあてず、同じ場所に長時間あてることも避けましょう
- 調理時や火をあつかうときは、慎重に行いましょう

家庭内の事故を防いで、健やかに過ごすください。

〔地域包括支援課〕

内線5500

てんいち先生



「早寝早起朝ごはん」
子どもたちが健やかに成長していくためには、適切な運動、調和のとれた食事、十分な休養・睡眠が大切であることは、周知のとおりです。しかし最近、日本社会の24時間化や核家族化、また

子どもたちが健やかに成長していくためには、適切な運動、調和のとれた食事、十分な休養・睡眠が大切であることは、周知のとおりです。しかし最近、日本社会の24時間化や核家族化、また

脳を働かせるには、「ブドウ糖」が必要です。このブドウ糖

いっしょに伸びよう 高田っ子



ワークスタイルの多様化などによって、「よく体を動かし、よく食べ、よく眠る」という、成長期の子にとっても当たり前でない生活習慣が乱れてきています。例えば、
● 午後10時以降に就寝する就学前の幼児の割合が29%（平成17年 民間調査結果）
● 朝食を食べないことがある小学生は15%で、中学生は22%（平成17年 文部科学省委託調査結果）
のよつなデータが出ています。こうした基本的な生活習慣の乱れが、学習意欲や体力、気力の低下につながっているひとつの要因、と言われています。

聞こく機会がありました。その内容のなかで、興味深い内容を伝えたいと思います。
1、朝ごはんの盲点
朝ごはんの質が脳の発達を左右する。おかずをしっかりと食べていますか？
朝ごはんの大切さは、今さら確認するまでもありませんが、問題はその中身だそうなんです。ある実験で、おかずと一緒に朝食をとったグループ1、朝食を抜いたグループ2、おにぎりだけのグループ3により、違いを調べた場合、グループ1は、脳に栄養がしっかりといきわたり、脳を使った実験結果は良く、グループ2は、ガス欠状態となり、脳を使った実験結果は、あまり良くありませんでした。グループ3は、朝食を食べたのに、結果は、グループ2と変わっていません。

上手に働かせるのに、「リンシン」という物質が必要だそうなんです。その物質は、米や小麦には含まれていません。多くは、豆類に含まれているため、例えば、豆腐の入った味噌汁に、納豆をおかずにした朝食が、理想的なのです。朝食で特に注意して欲しいのは、リンシンの摂取です。リンシンは、おからしか摂取できませんので、脳を上手に働かせるには、おからを配慮する必要があります。しかし、朝の忙しい中で、おからを用意するのは大変です。そこで、前の晩に翌朝用に用意をしてみるのも、いいかもしれません。

2、良質な睡眠
テレビの視聴時間、ゲーム、携帯メールの使用時間、ともに長いほど、脳の発達に悪影響をおよぼすそうです。また小学校ではテレビやゲーム、中学校では携帯メールやパソコン等が、遅寝の原因になります。
学習内容を脳に定着させるには、良質な睡眠を、最低6時間は必要とします。睡眠時間の確保だけでなく、睡眠の質も問われます。保護者がテレビを長時間視聴すると、子どもも長時間視聴し、長時間視聴するほど床に入る時刻が遅くなります。子どもの生活リズムの改善は、保護者の支援・協力が大切です。

脳を働かせるには、「ブドウ糖」が必要です。このブドウ糖



〔学校教育課〕

